

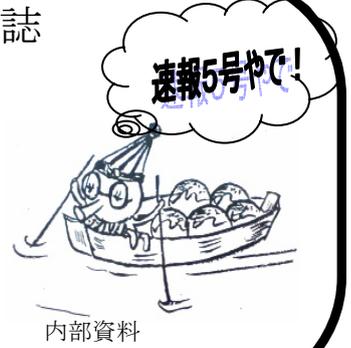


第8号

通天閣

じっくり語ろう、ほんまもの福祉

～持ちよう援助実践 確かめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を



内部資料

2008.11.30 発行

こんな福祉がしたい!

を聴いて、話して、じっくり語り合って…。

集会2日目は、各分科会で大変熱い議論が交わされました。

全国から500名(11/30現在)の仲間が持ち寄ったレポートは史上最高の116本!

ほんまもの福祉について語り合い、充実した一日となりました!

やっつけそう
な気がする
…(輝)



伝えたい思い



辛かった事
辛かった事
辛かった事
でも好きなんです



明るい
未来を信じて



最後には
みんな、仲良く、笑顔いっぱい



分科会アンケートより

- 第1分科会…若い方が自分の施設の事を振り返り涙され、感動した。若い方が働き続けるために何ができるのか改めて考えさせられた。
- 第2分科会…利用者さんが食べやすい、美味しい食事を提供したいという共通の思いを強く感じた。
- 第3分科会…生活の場としての施設の様々な対応や取組について聞くことができ大変勉強になった。
- 第4分科会…個別ケアが大切であるが、同時にひとつの行事を通して共感する事も大切であり、そこから生まれる力が大きいと改めて感じた。
- 第5分科会…事例を少なくしてテーマを明確にしたほうが討論しやすいのではないかと感じた。共感できる悩みばかりだったが、もう少し掘り下げて具体的に討論してみたかった。
- 第6分科会…発言しやすい人数だった。制度が分かりにくいという声もあり、これからの施設が心配。
- 第7分科会…改めて人員確保や低賃金を国に訴えかけたい。人員が確保できればやりたい事が沢山できる。
- 第8分科会…レポート報告から具体的アイデアをもらった。他施設でも同じ悩みを抱えている事がわかった。
- 第9分科会…事務職で今同じ問題を抱えていることが分かっただけで勇気が持てた。
- 第10分科会…若い職員の発表に感動した。課題を抱えながらも成長していく自分自身について発表した姿勢が素晴らしかった。
- 第11分科会…地域との連携の大切さや、ボランティア活動を続けていく意味を考えさせられた。



21 老福連第8回研究交流集会 実行委員会事務局 <現地実行委員事務局>
 社会福祉法人こぼと会 高齢者向け優良賃貸住宅さくら苑 (担当: 正森)
 TEL 06-4864-2266 FAX 06-4864-2212 E-mail info@kobatokai.jp

